

事務所	センター	市区町村	調査区	事業所コード*	業種コード*

この欄は農林水産省で記入します。

食品ロス統計調査
平成22年 食品循環資源の再生利用等実態調査票

この調査は、農林水産省が統計法第19条第1項の規定に基づき、一般統計調査として実施するものです。

この調査票は統計を作成するためのみに使用するもので、課税や個別の指導など統計以外の目的には使用しませんので、ありのままを記入してください。

記入上の留意事項

- 1 記入に当たっては、「調査票の記入の仕方」を参考にしてください。
- 2 平成21年度(21年4月1日から22年3月31日)の1年間について記入してください。
- 3 この調査は、食品産業関連の事業所を対象としています。このため、貴事業所の実態についてのみ記入いただき、貴事業所以外(他の支所・支店など)の分は除いてください。
また、本社の場合、会社全体ではなく、本社事業所で処理した分のみについて記入して下さい。
- 4 記入していただいた調査票は、同封している返信用封筒に入れて、月 日までに郵送により返送してください。返信用封筒に切手は不要です。
また、秘密の保護のため、返信用封筒には業者名、ご担当者名等は記入しないでください。

記入内容について照会させていただく場合がありますので、担当者名等の記入をお願いします。
なお、住所及び電話番号の記入は必要ありません。

(担当部署) _____

(担当者名) _____

問1

貴事業所の具体的な業種について、業種コード及び事業内容を記入してください。

業種コード	事業内容

注：業種コードは「調査票の記入の仕方」を参照してください。

■調査及び調査票の記入に当たって不明な点等がありましたら、以下までお問い合わせください。

問い合わせ先

名 称 _____

担当者名 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____

うらへお進み下さい。

問2 貴事業所の事業活動に伴う平成21年度（21年4月1日から22年3月31日）の食品廃棄物等の年間総発生量、再生利用の実施量等を記入してください。

なお、食品廃棄物等の年間総発生量がない場合は「-」を記入して下さい。

区 分		数 量
食品廃棄物等の 年間総発生量 ① ①=②+③+④+⑤		kg
減量した量 ② ②=a+b+c+d		kg
減量方法別	脱水 a	kg
	乾燥 b	kg
	発酵 c	kg
	炭化 d	kg
熱回収の実施量 ③		kg
再生利用の実施量 ④ ④=e+f+g+h+i+j+k+l+m+n		kg
規食用 品として いるイ ク用 途法 で	肥料化 e	kg
	飼料化 f	kg
	メタン化 g	kg
	油脂及び油脂製品化 (石鹸、洗剤、BDF等) h	kg
	炭化して製造される燃料 及び還元剤 i	kg
	エタノール化 j	kg
	以上 k	kg
外記 の用 途	食品用 (食品添加物、調味料、健康食品)	kg
	工業資材用 (舗装用資材、塗料の原料等) l	kg
	その他 m	kg
不明 n		kg
廃棄物として処分した量 ⑤		kg

問3 貴事業所の事業活動における平成20年度（20年4月1日から21年3月31日）の食品廃棄物等の年間総発生量、年間製造（販売）数量又は売上高及び平成21年度（21年4月1日から22年3月31日）の年間製造（販売）数量又は売上高を記入してください。

なお、「年間製造（販売）数量又は売上高」の欄は、数量で記入する場合はkg単位で記入し「kg」を○で、売上高で記入する場合は千円単位で記入し「千円」を○で囲んでください。

区 分	平成20年度		平成21年度
	食品廃棄物等の 年間総発生量	年間製造(販売)数量 又は売上高	年間製造(販売)数量 又は売上高
数量又は売上高	kg	kg・千円	kg・千円

注：1 売上高で記入する場合は、消費税を含んだ額を記入してください。

2 「年間製造（販売）数量又は売上高」の項目は、食品廃棄物等の発生抑制量の算出のために使用するものです。

調査は以上で終わりです。 ご協力ありがとうございました。

調査票は、同封している返信用封筒に入れて、月 日までに郵送により返送してください。
返信用封筒に切手は不要です。
また、秘密の保護のため、返信用封筒には業者名、ご担当者名等は記入しないでください。